

青い波北陽台

平成30年10月31日 発行
長崎県立長崎北陽台高等学校
西彼杵郡長与町高田郷3672
TEL 095-883-6844
FAX 095-883-0776
発行責任者 野中 光治

創立40周年記念式典 校長式辞

グリーンベルトのケヤキ並木も日ごとに彩りを増し、深まりゆく秋の色に染まる学び舎、長崎県立長崎北陽台高等学校は、創立40周年を迎えました。

昭和54年4月9日、竣工なった体育館で挙行された第一回入学式。その式辞の中で、時の中村康次校長先生は、「僕の前には道はない、僕の後ろに道はできる」と、高村光太郎の詩「道程」を引用し、生徒、教職員が一丸となって、師弟同行により新しい学校を創造しようと、1回生に訴えました。まさにそこから、本校の歴史は始まりました。そして、その言葉のとおり、長崎北陽台生は、21世紀を生きる者として、40年間、常に未来への道を切り開いて参りました。

また、「日本一の高校」を目指そうと、1回生、3回生が修学旅行で富士山に登ったことを記念して造園された「憩いの杜」をはじめ、建学の喜びと誇り、そして、多くの皆様からの期待が込められた、その時々々の記念碑が校内には点在しています。そして、それらは開校以来40年、本校を見守り続け、温かい「沈黙の声」となって、今ここで過ごす私たちを激励してくれています。

創立40周年を期に、その声に耳を澄ませる時、我々、生徒・教職員は、先輩の皆様が紡いでこられた伝統を受け継ぎ、輝かしい未来へと歴史をつなぎながら、この長崎北陽台高校を、さらに地域に愛される学び舎へと成長させていかなければならないと、身が引き締まる思いがいたします。

「過去が咲いている今 未来の蕾で一杯な今」。これは、陶芸家・河井寛次郎の言葉です。「過去」、すなわち、これまでの先生方や先輩たちの思いや活動が、その時その時の「今」となって咲いてきました。その「過去」の結晶が、今、「ここ」にあります。そして、その「今」が未来に向かっての蕾となり、美しく花開いていくのです。

しかし、そうあるためには、「今をどう生きているか」について、私たちは、自分の考えや行動などを深くかえりみることを求められます。私たちは、今何を考え、どういう習慣を持ち、どういう行動をしているか、その「今」を自らに問わなければなりません。人工知能やロボット、ビッグデータ、IoTの発達、人々の価値観をどう変えていくのでしょうか。その時、生きる意味とはいったい何なのでしょう。もしかしたら現代の若者たちには、新たな価値観の創造が求められているのかもしれません。ならばそのとき、高校教育がなすべきことはいったい何なのでしょう。

先の予測が難しく、目まぐるしい変化を遂げる現代では、それは答えのない問いなのかもしれません。しかし、我々が未来に向かって歩いていく道は、心を定めて、希望をもって歩むとき、必ず切り拓かれていくものです。長崎北陽台高校は、これからは、幾多の変化とそれに伴う困難を乗り越えてきた先輩の皆様へ学びながら、師弟同行の精神のもと、「高校教育の王道」をまい進していく決意でございます。

結びに、本日ご臨席の皆様方、並びに創立以来本校の充実・発展にご尽力いただきました関係の皆様に対し、深甚なる敬意を表しますとともに、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。式辞といたします。

平成30年10月27日 長崎県立長崎北陽台高等学校 第15代校長 野中光治

40周年記念式典

10月27日（土）に創立40周年記念式典がおこなわれ、多くの来賓の方にご来校いただきました。式典は全員合唱「大地讃頌」ではじまり、その後、来賓の方にご挨拶をいただきました。また、創立40周年記念委嘱作品として、「天と地の祈り」を作曲家福島弘和様に作曲していただき、式典では、福島様の指揮のもと吹奏楽部による披露演奏がありました。

記念講演では、「卒業生からのメッセージ～人との出会いを大切に～」の題で、本校2回生で現在、長崎大学病院高度救急救命センター長・医学部教授の田崎 修先生に講演をしていただきました。



記念事業

- ・記念誌発行
- ・同窓会名簿発行
- ・記念曲作曲 校歌編曲
- ・団旗購入
- ・ワゴン車購入
- ・体育館用プロジェクタ購入

記念行事

- ・記念式典（10月）
- ・記念体育大会（9月）
- ・記念文化祭（9月）
- ・記念合唱コンクール（6月）

1年生 陽の丘学級研修合宿 生徒の感想

今回合宿では、夕食を準備するときやともしびの時間のときに、クラスの良さを感じました。夕食の準備のときにすることがないからといって友達と話をしたりせず、自分から進んで仕事を探すことができましたし、その仕事を最後までちゃんとできたのが良かったです。ともしびの時間には、男子も女子も自分のことをどんどん話していたのでクラスの雰囲気話しやすい雰囲気だった証なのではないかと思いました。この時間のおかげで、前向きに物事を考えられるような気がしました（1年女子）



3年生 秋のレクレーション

10月3日に3年秋のレクレーションが行われました。今年は天候に恵まれ、崎野自然公園にてクラスでバーベキューなどを楽しみました。センター試験100日前にあたり、秋の爽快な空気を味わって気分転換を図り、38回生がチームとして受験に立ち向かう気運を高めました。



防災避難訓練

長崎市消防局北消防署浜田出張所から3名の方に来校していただき、避難訓練および消火訓練を行いました。今年も大雨など災害が日本各地で起きています。災害はいつどこで起こるかわからないので、万が一に備えて、訓練が大事だと感じました。

人権教育講話

NPO法人 DVながさきの小松由美子さんをお招きして、「対等な関係をつくるために」と題し、ご講話頂きました。ロールプレイをしながら生徒参加型の講演でした。普段段々学ぶことのできない多くの事を学びました。

2年生 大学の先生方による特別講義

2年生の総合的な学習の時間に長崎大学・熊本大学・佐賀大学の先生に来校していただき、様々な講義を受講しました。

【生徒の感想】

環境学部とは地質調査とか海や自然を守るといったイメージがあったが、今日の話では世界遺産や観光といった華やかな一面があってイメージが変わりました。人がどのようにすればもっと快適に、安全に観光をすることができるのか？という問いは、問題を見つけ出し、思いやりで解決するという文理の融合があった。そこが環境科学部の魅力だと思った。(2年男子)



各学年より

「陽の丘研修を終えて」

1学年主任 林 圭介

この10月に全クラスの陽の丘研修が終了しました。慣れない飯盒炊きさんなど、戸惑うこともあったと思いますが、多くのことを得ることができたはず。初めての場所で、特別のスケジュールで、クラス全員が動かなければならない時、中心となる者も必要ですが、周りの協力する者、気配りをする者の存在も大きいことが分かったでしょう。様々な立場があったでしょうが、クラスの団結はさらに深まったと思われます。その団結力を、今後の健脚くらべなどの行事にしっかりと生かして行ってください。

「実りの秋」にしよう

2学年主任 下村かおり

暑さも一段落し、様々なことに挑戦しやすい「秋」になりました。「読書の秋」(秋の気候が読書に適していることから)、「食欲の秋」(秋が一番食べ物が豊富な季節で、食欲が強くなるから)、「スポーツの秋」(東京オリンピックを契機に、スポーツに親しもうとする気風が高まった)、「芸術の秋」(集中して物事に取り組むのに最適な季節)、「行楽の秋」(秋は晴天が続いて過ごしやすく、お出かけにピッタリの季節だから)、など「～の秋」とよく表現されています。皆さんは「何の秋」にしたいですか？先日行われた進路講演会での最後の言葉を思い出してください。『夢を持つこと・決心すること・始めること・諦めぬこと』。「勉強の秋」といきたいですね。

Hungry Heart

3学年主任 池田 裕一

センターテストまで90日を切りました。とはいえ、毎日の多忙な生活の中で自分に着実に力がついているのを実感できている人は案外少ないのかも知れません。そこで恒例(?)の「こんな人は確実に点数が伸びる」ベスト3の発表です。

- ①放課後学習会の時に、早目に開始して、終わりはぎりぎりまで粘るのが習慣になっている。
- ②通学中でも、入浴中でも暗記物の学習をしている。(黄金のバスタイム。)
- ③模試で間違えた所の復習をまさに復讐のつもりでやっている。

1分1秒、1問1単語を疎かにせず貪欲に取り組む姿勢が、確かな自信につながるのではないでしょうか。

《11月の主な行事予定》

- 2日(金)開校記念日(休業日) オープン模試(3年) 県高校駅伝
- 3日(土)校外実力(1・2年) 校外マーク模試(3年)
- 4日(日)校外実力(2年) 校外マーク模試(3年)
- 8日(木)生徒総会
- 9日(金)全校朝会
- 10日(土)大学入試プレテスト(2年文理40名・3年理系20名)
地区PTA研修会
- 11日(日)大学入試プレテスト(3年理系20名)
高校トライアル試験(2年理数科)
- 12日(月)理数科講義(1・2年)
- 13日(火)～16日(金) 乳幼児ふれあい体験
- 17・18日(土・日)校外マーク模試(3年)
- 20日(火)試験時間割発表
- 23日(金)土曜自学(3年)
- 27日(火)～30日(金) 1・2年2学期期末試験